

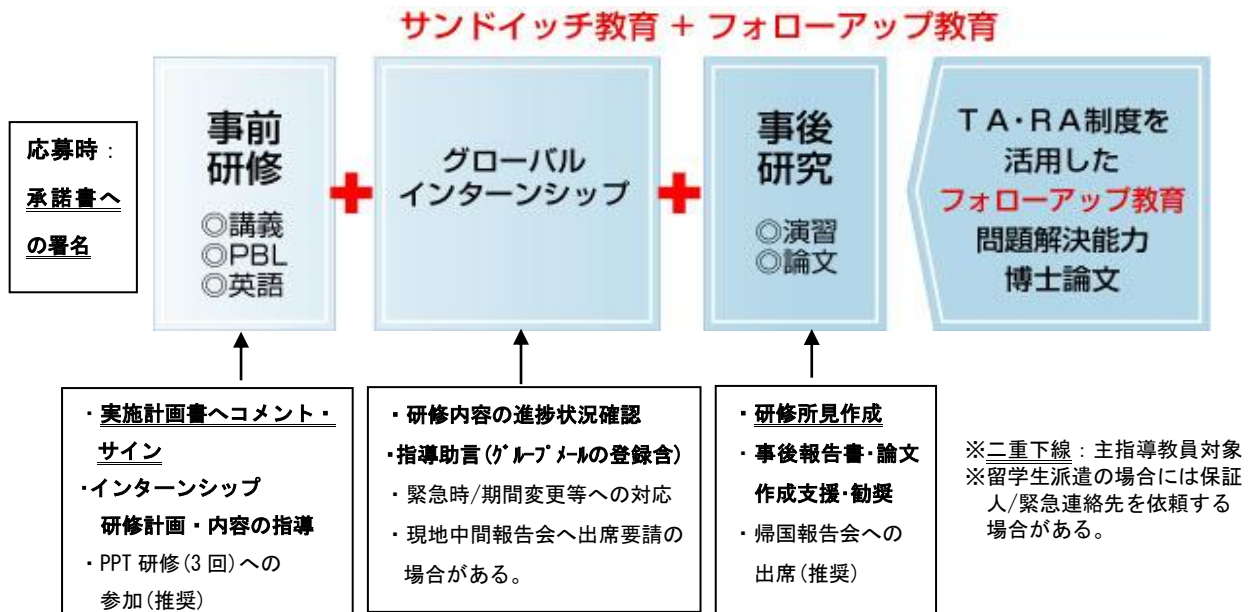
## G.ecbo 参加学生に対する教員の助言指導についてのごお願い

G.ecbo プログラム運営委員長 マハラジャン ケシャブ ラル

G.ecbo プログラムに対する日頃のご協力に感謝申し上げます。今般の学生応募承諾にあたり一筆申し上げます。

G.ecbo プログラムは実質的に海外インターンシップをプロモートするものですが、教育プログラムの一種であることは学内でもオーソライズされております。海外インターンシップのみならず、その前後に実施される研修・研究を通じて、自身の修士あるいは博士研究の一助とすることが本来の趣旨ですので、単なる業務体験型の海外インターンシップとは異なり、研究的側面も持ったインターンシップと位置付けられております。そのため、当該学生が G.ecbo プログラムに合格したあかつきには、研修・研究計画策定にあたっての専門的指導、インターン中の活動状況把握及び帰国後の活動成果の確認等、プログラムの各段階において先生方の積極的参加および助言が必要になります。このように当該学生の本プログラム参加にあたっては先生方にも重要な役割を担っていただくこととなりますこと、ご了解いただきたいと思っております。

### 【プログラムの流れおよび指導教員のかかわり】(指導教員への依頼内容：□内に記載)



G.ecbo プログラム事務局は、これらの活動が円滑に遂行されるようにサポートすることが主任務であり、高度な専門的内容に立ち入って助言することはできません。指導学生を G.ecbo プログラムに参加させることは研究指導の一環であるとの理解に立って本プログラムに関わっていただきたいと思っております。すなわち、インターンシップ学生に対する指導責任は G.ecbo プログラムにではなく、主指導教員にあるという認識が肝要で、この点全教員にご理解いただき積極的に関与されるようお願いいたします。なお、ご多忙な先生に代わって助言をいただける教員を推薦いただく事によって、日々の指導に滞りが無いようなご配慮も必要と思っております。そのような観点から、申請書の指導教員欄に2名の名前を併記出来るようにしておりますので、ご理解をいただきご活用お願いいたします。